

「東南・東アジア地域を対象とした食品ロス・廃棄抑制に関する国際ワークショップ」の結果概要

1. 概要

食品ロス・廃棄抑制に関する国際ワークショップは、G20 首席農業研究者会議（G2OMACS）※から派生した取組として、ドイツが主導し、2017 年以降 G2OMACS 議長国において開催。我が国は、2019 年の G2OMACS 議長国として、本ワークショップを共催し、アジア地域における本取組を支援。

本ワークショップは、（1）SDGs（国連の持続可能な開発目標）のターゲットである「小売・消費段階における食品廃棄半減」及び「サプライチェーンにおける食品ロス削減」に係る活動支援、（2）アジア各国間において、食品ロス・廃棄の測定・削減に関する知識・経験を共有し、協力とネットワーク化の促進を図ることを目的として、農林水産省、ドイツ・チューネン研究所、国連食糧農業機関（FAO）及び国連環境計画（UNEP）で共催。

（※）G2OMACS（Meeting of Agricultural Chief Scientists）は、G20 各国及び国際研究機関の首席農業研究者が参集し、世界における研究の優先事項を協議するとともに、各国等の連携強化を目的とするもの。2012 年から毎年 G20 サミット開催国で開催。2019 年は我が国が議長国として、4 月 24 日～26 日に東京で開催。

2. 日程

（1）2019 年 10 月 16 日（水曜日）

- ①現地視察（住友ベークライト株式会社評価 CS センターを訪問、青果物鮮度保持技術を用いた食品ロス削減の取組を見学）
- ②レセプション※（河野義博 農林水産大臣政務官出席）

（※）本レセプションは、「世界食料デーイベント」（FAO 駐日連絡事務所、国連世界食糧計画（WFP）日本事務所及び国際農業開発基金（IFAD）の共催）のレセプションと合同開催。

(2) 2019年10月17日(木曜日) 会合1日目

①歓迎挨拶

- ・菱沼義久 農林水産省農林水産技術会議事務局長
- ・岩永 勝 G20MACS 議長(農林水産省顧問/国際農林水産業研究センター理事長)
- ・本多俊一 UNEP 国際環境技術センター プログラムオフィサー
- ・Dr. Mbuli Charles Boliko FAO 駐日連絡事務所長
- ・Dr. Stefan Lange ドイツ・チューネン研究所 研究ディレクター

②基調講演

竹谷とし子参議院議員(食品ロス削減及びフードバンク支援を推進する議員連盟事務局長)

③セッション(報告、意見交換)

④ポスターセッション・展示

(3) 2019年10月18日(金曜日) 会合2日目

①セッション(報告、意見交換)

②総括、閉会

3. 場所 国連大学(東京都渋谷区神宮前5-53-70)

4. 出席者

日本、中国(マカオを含む)、インドネシア、韓国、シンガポール、タイ、台湾、サウジアラビア、ドイツ、FAO及びUNEPの食品ロス・廃棄抑制に関する研究者・担当者等

日本からの出席者は、

- (1) 農林水産省: 河野農林水産大臣政務官、菱沼農林水産技術会議事務局長、島田研究総務官、本城国際研究官、片貝バイオマス循環資源課長、野島食品産業環境対策室長ほか
- (2) 竹谷とし子参議院議員
- (3) 外務省、環境省: 担当官
- (4) 農研機構: 松田理事、大谷理事ほか
- (5) 国際農研: 岩永理事長(G20MACS議長)ほか
- (6) その他: 大学の教員、民間企業等の担当者等

5. 結果概要

今回のワークショップにおいて、

- (1) 食品ロス・廃棄抑制のための SDGs の目標達成を目的とし、アジア等から異なる国、地域及び機関から食品ロス・廃棄抑制に取り組む関係者が参加し、生産から流通、加工、消費といったサプライチェーン全体を視野に入れ、現状把握や優良事例の紹介、課題に向けた検討などを議論した。
- (2) 各セッションでは、テーマ（①食品ロス・廃棄（FLW）の測定と報告、②家庭の食品廃棄、③法的な課題と政策の選択肢、④収穫後のロス（東南・東アジア地域における課題と展望）、⑤食品サービス分野における食品廃棄への対応、⑥FLW 抑制に関する国家戦略、⑦東南・東アジア地域における協力促進とネットワーク構築）に沿って事例発表とそれに続く議論を行った。

このうち、農林水産省から、「スポーツイベントで食品ロス・廃棄を削減する手法に関する調査」について、農研機構から、「食品ロス抑制に資する食品バリューチェーンのスマート化に向けた技術の研究概況」について事例発表を行った。

また、会場においてポスターセッションが行われ、農林水産省からは、「日本の食品ロス・廃棄削減に向けた取組」についてポスター発表を行った。

- (3) 竹谷とし子参議院議員から、「日本の食品ロス削減の推進に関する法律の成立経緯」について基調講演が行われた。
- (4) 本ワークショップの議論の成果は、ホームページ（<https://www.macs-g20.org/about-macs/macs-activities/macs-collaboration-initiative-on-food-losses-food-waste/>）で報告書が公表されており、2020年の次回 G20MACS 会合（サウジアラビア）において、報告される予定。